

2020年2月8日

住みよいまち形成へ一丸

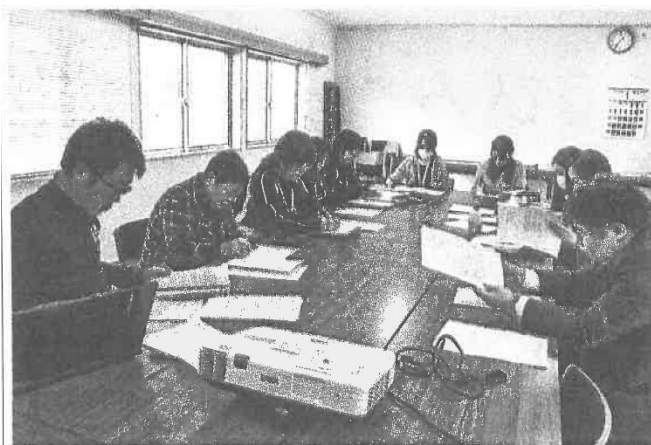
陸前高田市 未来図会議 社協やNPO参画し運営

誰もが住みよいまち形成を目指し、市民が語り合いを通じて地域課題の解消策を探る「陸前高田市未来図会議」は昨年度から、市

とともに社会福祉協議

会やNPO、市民などが企画・運営に携わっている。毎回多様なテーマを提供し、地域や業種を越えた市民間の

「はまかた」運動(略



つながりを育む機会と

14日(金)に開かれる本年度最後の未来図会議への参加を呼びかける。同会議は、保健・医療・福祉分野の関係者らが「はまかた」(仲間に入っ

て)かだつてけらいん(話

30年度からは、市民みんなで「はまかた」参加対象を拡大。テーマを練る「はまかた運動推進会議」には、社協、陸前高田まちづくり協働センター、SAVE TAKATA、市民有志を新たに

え、食や子育て、移動手段などさまざまなテーマを設定してきた。未来図会議には、毎回50〜60人が参加。徐々に一般市民も増え、市はまかた運動推進アドバイザーで、岩手医科大学助教の佐々木亮平さんは「飛び込み

14日の未来図会議の内容を確認し合う運営メンバー

で参加する人も見られるようになった」と手応えを語る。

14日の未来図会議の

テーマは「はまかたで減災〜自主防災組織の活動について知る〜」。自主防災組織の具体的な取り組みや災害ボランティアセンターに関する発表のあと、ゲーム形式で防災に理解を深め、平時にできる減災への取り組みについて「はまかた」する予定。

会場は高田町の市コミュニティホールで、

時間は午後1時30分〜3時30分。誰でも参加でき、事前の申し込みは不要。

市保健福祉課保健係の担当者は「社協やNPOなどと協働で会議を重ねていることで、情報を共有しながらアイデアを探ることができている。今後市民が心を通わせ合う『はまかた』を未来図会議を通じて推進していきたい」と意欲を語る。問い合わせは、同係(TEL54・2111内線241)へ。